

41038

教科書文庫

4
760
31-1934
25000
14304

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

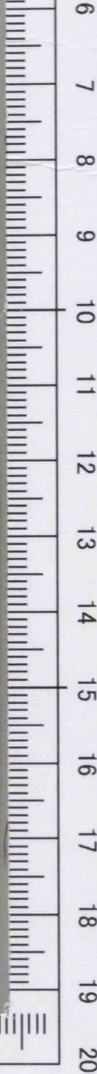
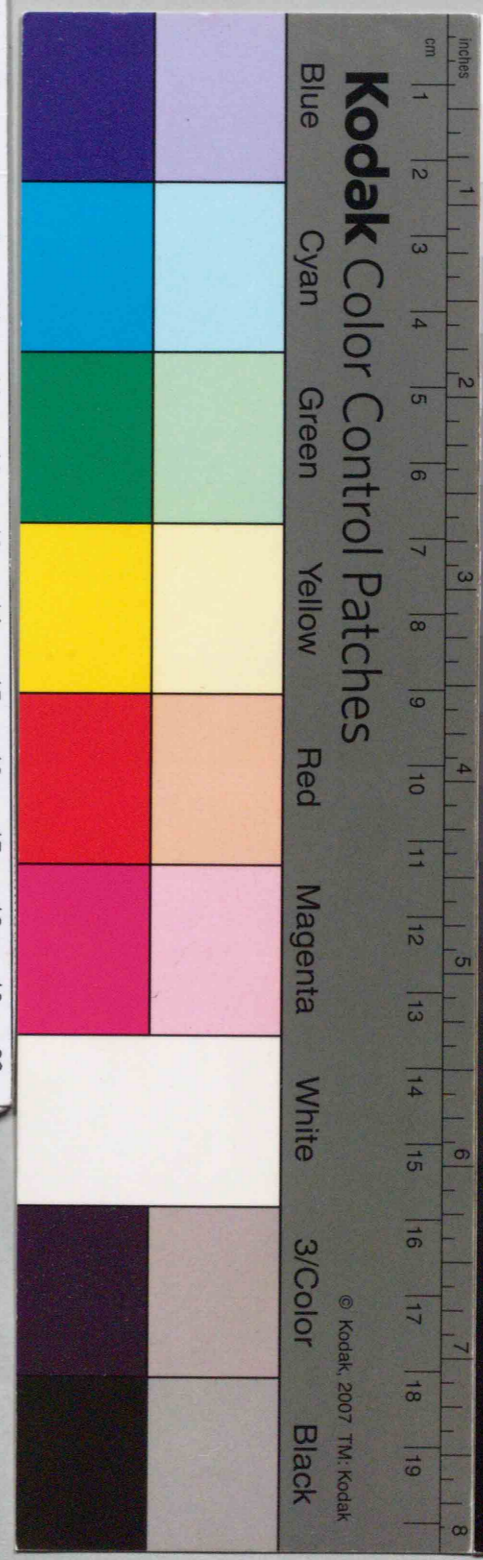


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



小學唱歌集 第三編

760 類
287 號
2041

文部省音楽取調掛
編纂

唱歌集

第三編

小學校教師範學校中學校教科用書



唱歌集第三編

目次

やらばら

春の夜

なみ風

あまげハ尊

や

寧樂の都

才女

母のわらわ

廣島師範學校
藏書印

60類
697子
241

2041

14304

小唱歌集 三編 目次

めぐりくる車

墳墓

秋の夕暮

古戰場

秋竹

富士筑波

園生の梅

橘

四季の月

白蓮白菊

學び

小枝

船子

鷹狩

小船

誠人の道

千里の道

春の野

瑞穂

樂しむ

菊

忠臣

千草の花

きのふ今日

頭の雪

さけ花

高嶺

四の時

花月

治る法代

祝へ吾君を

ふらふ

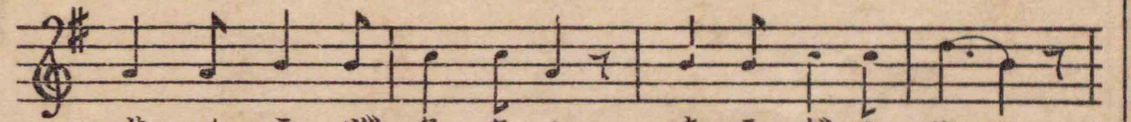
心を王

招魂祭

第五十



1. ヤ ヨ モ ー タ ミ ー イ 子 ラ ー ウ エ ー
2. や よ み ー た み ー の や を ー の り ー



井 ノ ミ ツ タ タ ヘ キ ミ ガ ヨ ハ ー
わ の や を ふ き て き み の よ は ー



ハ ラ ヅ ヅ ミ ウ チ ミ フ イ ハ ー
あ め つ ゆ し の ぎ ゃ ー を わ ー た れ ー

第五十

やよ街民

一 やよみくく。猫をうる。井の

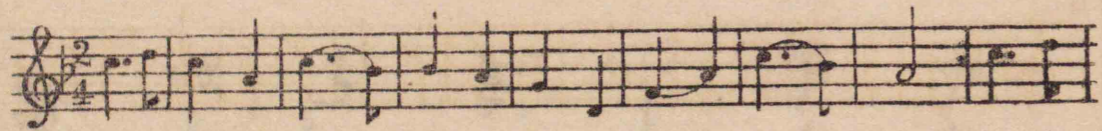
水たへ。君が代ハ。後つみ

ら。牙をいはへ。

二 やら清氏。夢哉か。己わが

あをふたて。君が代ハ。あめつ

きはら。世をいれ。



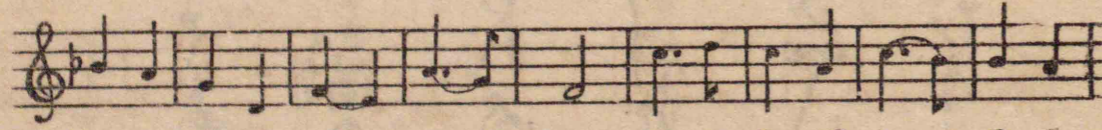
カスエニキーユルカリガー子ーモカス



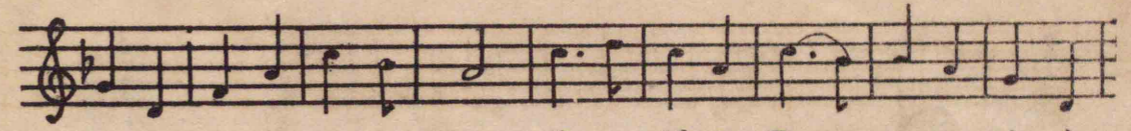
カニヒーピタフエノー子ーモラサマル



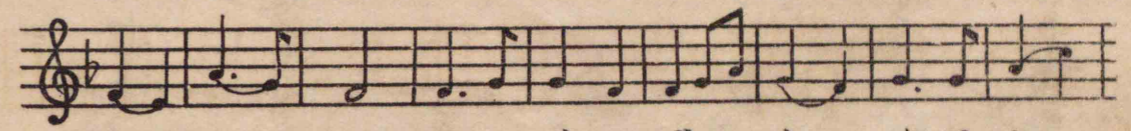
エヨーノーシラマーニーチタノシキハ



ルノユフダーレーヤトモシピトーリテ



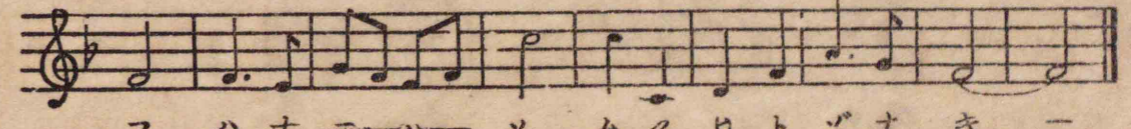
ムカシノヒトノアソビシヨーハモカカ



リーケーシヨハサマザマートーオモヒ



シーラムカシモイーマモカクサキニホ



フハナニハーソムクヒトゾナキ

第五十一 春の夜

一かすみよきゆるかよふね
 色かきうらひなく。笛ふえの
 音入。をさまら後代乃。
 しるも。あけしを
 ちりけ。ゆめをまきわ。
 かなきし。火をりて。むし

のひやけ。あきび
 春あけ。あまけし
 世をさまら。あけし
 色。むし。うらひなく。
 かきけを。にほふ。
 ちりけ。に。あきむ。
 人ぞ。たきさ。

第五十二

一 ナニカセサカマクアラウナバラニヤミ
 二 どらぎ一屋うそおんあやまなのにやみ
 三 ナタドレルフナビトアハレヤミチ
 四 一にまよるたびびとあはれやみち
 五 ナドレルフナビトアハレイノチトヌーノ
 六 まよるたびびとあはれいのちとたの
 七 ハサヲカヂナレヤサヲカヂナレヤ
 八 わともしびなれやともしびなれや

第五十二 ながし風

一 ながし風さかまきくまきま
 二 づくに。晴路をたどる。
 三 ふれ人らしきや。やう路を
 四 たどる。船人ありけ。命や
 五 たのむ。様うぢらちれや。く
 六 二 船さへうそづく。荒山中に。
 七 やらら。まらへる。きび人
 八 ありき。やららにまらへる。
 九 船人ありき。のらとたのむ。
 十 たり。火されや。

第五十三

ユわホ
ンンド
オオマ
シシシ
ワヒマ
ガゴナ
シロヒ
ノのノ
アタア
ユエエ
オミワ
オミワ
イイイ
キヨキ
ツめツ
シゲシ
トハト
ノヨク
コヤユ
シゲキ
トオナ
トをツ
カのカ
レレレ
メメメ
イイイ
ガガガ
サササ
ラララ
バババ

第五十三

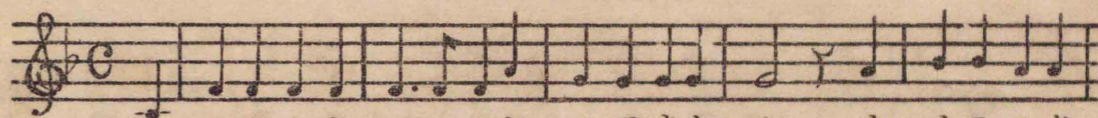
らふなまきり

一 わなげはたるきり。どろの思。
霞の庭にをたやいしやを。
ゆきんばつち疾し。こゝろと月。
今こそわのまきりいざらぶ。

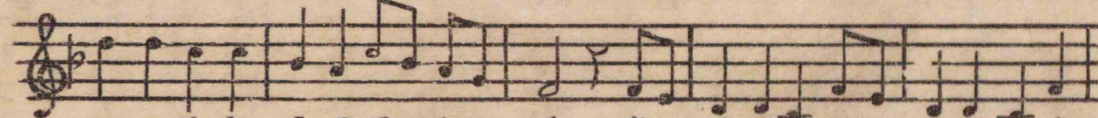
二 互らむつし。思ふらの思。
わの敷くはあん。やとわするれ。
身をそそ名をあげ。やよはなめら。
いままらわのまきりいざらば。

三 朝ゆふなれり。まればの窓。
ほたるはこり。火つむ白雪。
いさかちあどちなれゆくら月。
今こそわのまきりいざらぶ。

第五十四



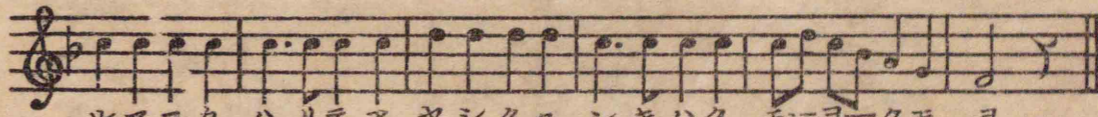
1. タタクヒ ヲニハヤ マヲオホ ヒ ヲチモルヒ
2. ヲフカにいろどるは しをあた し みをらにて



マニモウ ミヲワター ル クーモテラモーノコラク
るせぬな みをおこす らもてふも のこそ



スシクアリケレクモヨ タモヨ ナメトモキリトモ
ナニもあまけれもよもよ なきおとあもぬばお



ルマニカ ハリテア ヤシクク レキハク モーヨークモ ヲ
おぞらお おひてあ やしろく しきはら もよもよ

第五十四 雲

一 瞬間しゅんかん。あまを知らぬ。

うらららひまに。海をわたる。

あつたつた。くすしくあられ。

くまのこころ。あつたつた。

まらる。あまの青き。あつたつた。

二 ひと日に。いろどる。橋をわたる。

うらららにならせぬ。海をわたる。

あつたつたのこころ。あつたつた。

あつたつた。あまのあつたつた。

あつたつた。あまのあつたつた。

1. ナ ラノミヤコノ ソノムカシモ
 2. ふ るきみやくこの 女のむかし

ヤビツクシテ ミヤビトノア
 んらのぎし て おほきぬのあ

ソビマシケンタツタガハラノモ
 をびましけんしおのはなぞのは

ミナバータツタガハラノモミナ
 なぎきしおのはなぞのは

バ イ マモニホフ チシホ
 き い まもにほ ふ い ろの

ノイロニ ノコルカタ
 ををぬて あ めるすの

ミハチヨモクチセズイマカイマ
 たはちよもあはらずいまやいま

カトキミヲマツランソノモミナ
 やとみゆきまつらんせのはなは

第五十五 寧樂の都

一 ちうらんのちやみのそれむじ。
 ちやびほくく。まむまの。
 遊あそびまあくん龍田川原たつとがらの紅糸べにいとふ。
 ちつがりのきむらぶ。今にらふ。
 ちうらのきよのころかすみら。
 ち代もくちせび。今うまこせ。
 ちをまつらん。それおまふ。

二 ちうらちちやら。それむじ。

ちさららちらちら。ちやきさみの。
 あまむむちちらん。滋し賀が乃の
 ちち園どちちさた。一がのふ
 ちちれ。ちちさた。今そにらふ。
 ちちをそくち。ちちめらちあちい。
 ちちちちかちくち。今ちやまちち。
 ちち幸ちまつらん。それちちち。

第五十六 支女

1. ガキナガセル フデノアヤマニニソニ
 2. まきあげ たあ をすのひまー に きー

メシムラ サキ ヨヨ アセー 央 ユ
 み の て と ろ き し ら ゆ きー や ろ

カ リ ノ イ ロ コ ト バ ノ ハ ナ タ
 ゼ り の み 秘 る あ い の の 秘 め

グ ヒ モ ア ラ ジ ソ フ イ サ ニ
 に み る どー ど き せー の ふ ぜー ー

第五十六 支女

一 かけたうづ来る。葉乃
 あやに。そめしつらさ。
 世にのぎん。ゆものりん。
 大とばのそれ。あぐひん
 あ〜。それいさを。

二 まれあぐる。小簾乃
 ひもろ。君のあゝ色。
 ー。や。きん
 ー。の。ね。め。に。〜。と。た。
 ー。れ。〜。

第五十七

1. ハ ハノオモ ヒハ ソ ラニミ—チ ユ—クヘモシ
 2. は はのなぎ けの なでしこ—よ つ—ゆなわす

ラ—ズハ テ#モナ—シ ツキノカツ ラ—ラ タ
 れ—ぞめ ぐみを—ば いをらつ す—も そ

フリテニ ズ イヘノカ—ゼラバ フカセツ—
 だてぶ—き はたをき—るぎををしるぶ—

ル アフ—ゲ ア フ—ゲ ハ ハノミ イ サ ラ
 き した—る した—る は はの なぎ けを

第五十七 母のやまひ

一
 めもれりもひハ。あにらる。
 めもれりもひハ。あにらる。
 めもれりもひハ。あにらる。
 めもれりもひハ。あにらる。

二
 母のなまけの。あにらる。
 めもれりもひハ。あにらる。
 めもれりもひハ。あにらる。
 めもれりもひハ。あにらる。
 めもれりもひハ。あにらる。
 めもれりもひハ。あにらる。
 めもれりもひハ。あにらる。
 めもれりもひハ。あにらる。

第五十八



1. x グレ ル グ ル マ ナ ガ ル ル ミ ツ
2. v は 弦 を つ た ふ し づ ら の み づ



ワ レー ラー ハイ コ ヘ ド ヤ ム マ ナ シ
つ も れ ば つ ひ に う み ど な る

第五十九



1. マ コ ツギ ケ フヂ ム カ ツ ゼ ヲ カ ハ に ハ コ ム モ コ シ ジ サ ニ 流 ハ シ の キ ミ レ エ テ テ オ オ オ モ モ ハ バ バ ア
2. マ コ ツギ ケ フヂ ム カ ツ ゼ ヲ カ ハ に ハ コ ム モ コ シ ジ サ ニ 流 ハ シ の キ ミ レ エ テ テ オ オ オ モ モ ハ バ バ ア



ハ は ハ レ レ ワ ワ ガ ナ キ チ チ ノ オ ク ツ キ ド コ ロ
ハ は ハ レ レ ワ ワ ガ ナ キ チ チ ノ オ ク ツ キ ド コ ロ

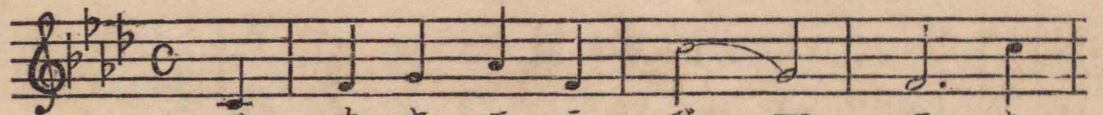
第五十八 ぬれる車

一 めぐさりの車。ちがらる水。わさるは
いここのや。やむ間ち。
二 岩松を流す。ちづるの水。積ま
流しひら。海やちま。

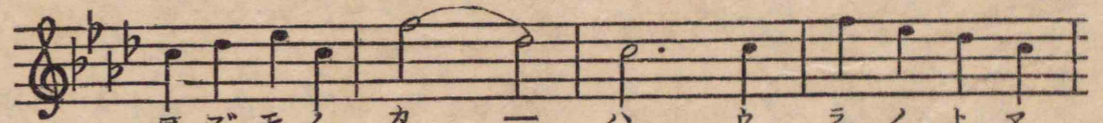
第五十九 墳墓

一 ねくく風ら。あふるあし。
おらへばあはせ。わづれと父乃。
奥津城ごころ。
二 流第が流る。わづれと母乃。
わづれと母乃。
三 岩むす境ら。文をさへ消えて。
わづれと母乃。
ちまおと母乃。

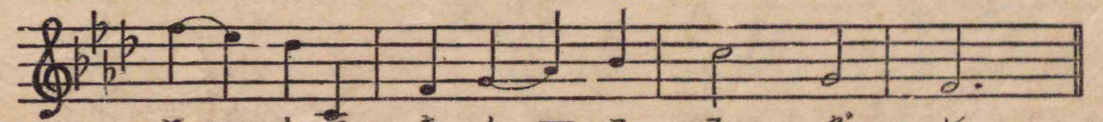
第六十



ハコア ナハ ヤロレ モナサ ミキビ ナミシ 二 モモヤ オホイ



ヨロロ ズレバ モシテ ノレダ カトシ 二 ハヤド ウレマ ラギキ ノタタ トツツ マキヤ



ヤハヤ 二 ノの アア キキキ ノの 二 ユユロ フフフ グググ レレレ

第六十

秋の夕暮

一 花や紅のうら。なよぶりのた。

満るこもやの秋はゆいづき。

二 あつらふちやうらを。あつらふちや。

照る澤のらたの夕暮。

第十一

Musical score for 'The Old Battlefield' (古戦場). The score is written on four staves in G-clef, 3/4 time. The lyrics are written below the notes.

カ	バ	子	六	一	ク	チ	テ	ホ	子
カ	バ	子	六	一	ク	チ	テ	ホ	子
カ	バ	子	六	一	ク	チ	テ	ホ	子
カ	バ	子	六	一	ク	チ	テ	ホ	子

第六十一

古戦場

一 屍ハ朽て骨とちり又ハをせし。

しむゆふ今く風は

鼓のねさる風り。

二 人影さすゆも遠はれて。

おをんを指し荒野を

そけあたる代は朽れ。

第六十二

1. 2. 3.

サアタ キヤレ ノビマ コシキ リキク タホラ ルン アハ サギナ ガの ス 赤ハス

ヤナキ イタカ ノマゼ チニ トモタ タフ カカ 一タニ ふるニ 多ク

五ニ モジ アエ 廿 廿五 下ル 下ア 廿五 廿五 二 赤ハス 二 二 二

第六十二 秋艸

一 秋の草花のうらみ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。

二 秋の草花のうらみ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。

三 秋の草花のうらみ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。

四 秋の草花のうらみ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。

五 秋の草花のうらみ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。

六 秋の草花のうらみ。あはれ。あはれ。あはれ。あはれ。

第六十三

ムスルガーナール フジノタカ子ヲ アフゲーテ
 ぶつばばの このもゝのもも てらすなる

カゴカヌエヨハシラ ケーリ
 みよのひあぞあまーの たき

第六十三 富士筑波

一 駿河なるふのさね

あふたしも 勢うぬ法代も。

~~~~~

二 是はつるのいんさのふた

~~~~~

ありがた。

ハル --- メ --- キ --- ヌ --- カ
 やま --- む --- れ --- ば --- 申 --- き

タ --- ノ --- ユキ --- モ --- ムラ --- キ
 の --- あら --- ぬ --- ち --- そて --- の ---

エ --- テ --- ワ --- カ --- ナ --- ツ --- ム
 し --- こ --- き --- ら --- ら --- の --- は

ベク --- ノ --- ハ --- ナ --- リ --- ヌ
 なき --- き --- え --- か --- ぬ

第六十四

1. ソノフーノウメノオヒカセ
 2. やよひのそらにのびる

ニ
 ば

ワガスムヤマモ
 すみれのはなごも

第六十四 園生の梅

一 そのふけ梅は。退れたわがすむいよ。

あはれなうらなひのうらなひ。

あはれなうらなひのうらなひ。

二 海舟のそらにのびる梅の

ふけく。あはれなうらなひ。

かこ。梅はうらなひ。

第六十五

1. チ ナ ノ ミ ノ チ チ ヤ モ ウ エ シ
 2. は は と ば の は は や も う ろ ぶ し
 ナ ツ カ シ の キ カ ニ コ ソ
 シ タ ハ シ キ カ の を マ ぞ
 ニ ホ へ ヨ ニ フ ル サ ト ノ
 ス ナ な る し の ぶ の ぎ と の
 ハ ナ ノ ち 一 ナ チ バ 一 ナ
 は な の ち 一 ち ば 一 な

第六十五 橘

一 ちりけきる。父やまうき。

なつかき。あまのこほへ。

またあまのこほへ。橘たちばな。

二 はらそバの母やまうき。

あまのこほへ。あまのこほへ。

あまのこほへ。あまのこほへ。

第六十六

このま さいらぶ 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二

ハツマイ ナホカケ ノのセの ウラオヒ へんきも ニケテバ カシタヤ スバカカ ちぢあ ちはち

チヤメチ シラレラ ハナアホ 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二

イヤステ ゼンメンチ シラレラ ハナアホ 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二

第六十六 四季の月

一 さだにらふ。やまのはらうら。
 りんろうら。おんそいで。
 ちりほゆめ。

二 るすが。なるとりそふら。
 けりれうへに。ばーハやぶる。
 友の表れ月。

三 こゝひらの。こゝろ。
 まのをおたて。さうね。
 あれたのらけ月。

四 いけの画。色身にむ。
 冬のなけ月。

小昌次集 三編 十九 千代田歌

一
もももかき一箇の中かなもももハ
まはりくまひくまひくまひくまひ
はえゆく月ハ美よたむふ美ハくまひ
たぐの水梅ハ美まひくまひくまひ
晴る夜をはへてくまひくまひくまひ
もやに業やくまひくまひくまひ

涙のしらゆりぬけいで濁にまみぬ
たまゆりのひらりたるまひくまひ
たまたまこえかきまひくまひくまひ
氷のすがらくまひくまひくまひくまひ
かきまひくまひくまひくまひ

第六十七 白蓮自編

第六十七

二ドノ ウチヨリヌケイデテ ニゴリニ シマヌ ハナハチス ツキノ
おきき うれしそこのうち ゆきにも いろはまきまき いたたく

ヒカリカヒルスゴク シモトサユバ ナツサムシ ミダルレツユハ
しきは ぬをよえ ちきやく フーは ぶににふ フーはらすと

タマトニ カラレカゼハ ミゾシム コホリノ スガタ ユキノ
きくのみづ うめはみぎをの おのども やーみのよはきた てらす

イロ ツユナケガシソヨリチリニ
なまどろのきとに ふみやみんふみやみん

第八

1.
 2.
 マおマ ナナナ ハハハ ワワワ ガガガ ミミミ ノのノ ヒヒヒ カタカ リトリ トゾト ナナナ リるリ
 フゆオ ウるコ キヨリ モムハ エウワ イるガ ヲナミ モナノ ココア ココタ フロト ノのゾ マコナ ママル

第六十八 三つひ

一 まるびにわづるは。あつらひ。
うつき。えいぐい

二 踏まにわづるは。仇やどちる。
あて あつく ゆる すま らん の 約

三 まるびにわづるは。ひつちやちる。
あて ゆる ち つち の 仇 ど ち る

第六十九

1
 ヤ エ ダ ニ ヤ フ レ ル
 わ が や に ろ ひ ぬ る

2
 ミ チ フ ナ モ ナ ラ セ シ
 き み れ せ つ お の ふ ー る

3
 コ ト リ サ ヘ レ イ ハ シ ル
 い ぬ き だ も お ん は し る

4
 ソ ノ ヒ ト ラ フ ワ ス ル ナ ヨ
 ま す ば を み を つ ナ ヨ

第六十九 小技

一 けえぶにやられる。小きさへ。

糺ハ―る。道をたうひ。

その人を。あするなど。

二 吾がふくぬる。犬はへそ。

愚ハ―る。君はをつかぬ。

大夫まら。身をつくせ。

やよふれ子。

~~~~~

二 志不みちて。風さぎぬ。

やよふれ子。

~~~~~

一 やよふれ子。こげ船を。

第七十 船子せうこ

第七十

1 2 3 4

1. ヤ ヨ フ ナ コ コ ゲ フ 子 ラ 一
 2. し 不 め ち て の ぜ な ぎ ぬ 一

コ ゲ ヨ コ ゲ ヨ コ ゲ ヨ コ ゲ ヨ ヤ ヨ フ ナ コ
 こ げ よ こ げ よ こ げ よ こ げ よ や よ ふ ね こ 一

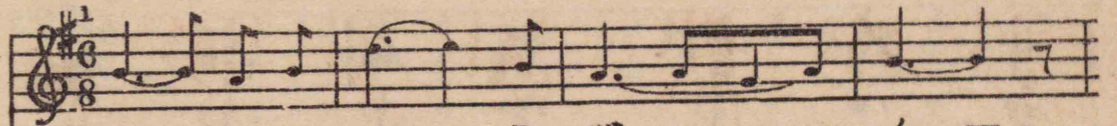
志^{たう}の^{たう}を^{たう}。多^{たう}に^{たう}す^{たう}急^{たう}ら。
 馬^{うま}の^{うま}が^{うま}里^{うま}い^{うま}さ^{うま}め^{うま}る^{うま}者^{うま}。
 す^すハ^す也^す物^す埒^すよ^す。ゆ^ゆけ^ゆ〜。
 二^に雪^にハ^に物^に埒^に〜。ふ^ふ〜。
 犬^{いぬ}ハ^{いぬ}か^{いぬ}り^{いぬ}埒^{いぬ}を^{いぬ}。か^か〜。
 多^たど^たむ^たき^た〜。そ^そ〜。

第七十一 音指

第七十一

1. シラフノ タカラテ ニスエ モチー
 2. ゆき 四の 五 七に 九 ふれ ぶれ
 3. タマニ マダガリ イサメ ルキ モー
 いぬ は 五 七に 九の くれ のれ のれ
 4. スハ ヤカ リバ ニコ ケユケユケ
 と 五 七に 九の くれ のれ のれ

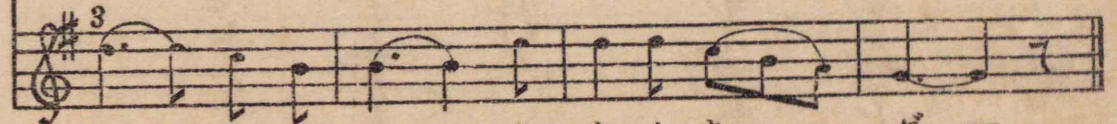
第七十二



1. ナ ガ ル ル ミ ツ ノ
2. ふ ち せ も み え ズ



ウヘニモサ クハナコ コロセヨヤ フブ子
そらよぞち るはなこ ころせよや をおは



ソ コ ニ モ ハ ナ ノ カ ゲ
セ て に も は な の な み

第七十二 小舟

一 流し水のうへみさくを。

こゝろをせよ。をさね。

庭にををれのうげ。

二 淵水もえびそよりあそ。

あゝろせよ。をさね。

神ふをりのほ。

第七十三

一 まさか旅人の道ぞかへりて
 そむれどもなみちし
 二 うらたの神はこまきのぞ
 ながしそねのこまを

一 まさか旅人の道ぞかへりて
 そむれどもなみちし
 二 うらたの神はこまきのぞ
 ながしそねのこまを

第七十三 旅人の道

一 まさか旅人の道ぞかへりて
 そむれどもなみちし

二 うらたの神はこまきのぞ
 ながしそねのこまを

第七十四 千里のみち

一 千里の道入是れこまの道始れる
 東の末の道を横きこまの道か

二 やかる山を登りてはみちを
 書よむさへそわらひみちを

第七十五 さまの唄

第七十五 さまの唄

第七十六

第七十五 さまの唄

一 いつらうきよ。さへえーけり。
 梅はく。野道。いざゆかん。
 一 みやま。あま。りえぬまを。
 わかさつむるを。うちむきて。
 三 柳乃いぢ。なびくちり。
 ろろをのべに。あそびま。

第七十六 搦楳

一 茶生の。いぢらの種と。かこた
 神は。たまへる。うねぞ。
 二 採る。糸をたゆき。山田の。まぶ。
 ゆけ。秋の。たのしみ。
 三 わづの。にの。門田の。ゆを。
 新。まを。踏む。夕日。の。げま。
 四 新。まの。輪の。秘。徳を。とりて。
 新。ま。つ。久。神を。ま。い。

第七十七

多二れしワレマナヨモヲへモ一モ一ク一レ一ヌ ア一
 多二れしワレマナヨモヲへモ一モ一ク一レ一ヌ ア一
 スナモマムタアサトクヨリマナ一バ一マ一シカ
 ナモマムタアサトクヨリマナ一バ一マ一シカ
 タムトシツッキタ土セザラバラ
 タムトシツッキタ土セザラバラ
 キノカ一ツ一ラ一ヲ一モ一ワレゾモヲル一ベ一ギ
 ノカ一ツ一ラ一ヲ一モ一ワレゾモヲル一ベ一ギ

第七十七 新し

一 たのしあま。まればもをへ。
 目せくれぬ。あすをまうこ。
 新し。たえせざら。月の桂
 をを。これぞをるべき。

二 うきあま。あまのよはて。
 ひきくれぬ。あすをまうこ。
 新し。たえせざら。月の桂
 をを。これぞをるべき。

第七十八

第七十八

レモ カシモ モナ 子は の シム 二 ムキ 二 モヤ サハ 二 ガお 二 いた ノハ 二 ハハ

アア シラ 二 ギギ 二 クム 二 トレ 二 アア アア 一 クは 一 れ 一 ギれ 一 ラは 一 シア

リモ ニて 二 キム 二 サの 二 テモ 二 レを 二 クを 二 フみ 二 リの

第七十八 葉

一 庭のふ草もむりねも。

かまそきびくちうにけり。

あゝあゝだく。吟呼白菊。

ひとりおられてはたしんり。

二 露りたわむや菊乃花。

ちよにおびるやたろのふ。

あゝあゝむく。あゝ白菊。

人のみきをんかくてらり。

第七十九

1. アア カガ ハシ クスノフタモト アア タエセシ
 2. ああ のは はなのふたもと ああ たるはし

ミよ ナシの かがや ハま ナチ モノ オは トモテ ミニ ゴシ ムナレ

ソ一 ノア ハレ ソノ イサテ フと ちん あ ちん

キや ダイ ノヒト ちん あ ちん タグヒナ ヤ

第七十九 忠臣

一 嗚呼香ぐハシ。楠の二本も純せ。
 又と川。浪の音も。かたごも
 ある。そありきその功績忠臣
 嗚呼忠臣。兄弟の人忠臣あり
 忠臣。んぐひさや。

二 嗚呼くはり。の二もあらうらう。
 芳野。ちまた。らうらう。世に。あはれ。
 そけうしや。その。あはれ。あはれ。
 あく忠臣。兄弟のひと。忠臣。あはれ。
 忠臣。たぐひさや。

第八十

Musical score for '千尋の花' (Chiyonon no Hana) in 4/4 time. The score consists of three staves. The lyrics are written below the notes. The melody is in a major key with one sharp (F#).

Lyrics (top to bottom):

- メルネン
ソハシバ
マヤのメト
ユキほレ
ツハタタ
ハハハ
オハシ
ハミモ
ノ全
サカキ
トシ
チキキ
ムム
- ゲバナ
カハ
ノハ
ラエ
ソキ
トハ
ロ
イモ
ヌル
ラ
マ
ソ
- ハレ
ナ
ニ
ヨ
カ
カ
キ
モ
ナ
カ
カ
カ

第八十 千尋の花

一 千尋の花ハ。花をその。野中の
水ハ。月やさる。そまぬいろと。雲の
うげ。そらるる。たらの。う。よの。中ハ。

二 花をよそふ。萩の花。もみぢを
さそふ。萩ハ。の。お。夢。野。の。わ。く。
消ゆ。た。木。枯。わ。く。り。あ。ま。ぬ。べ。い。

三 はうねきりの。を。ほ。め。で。ん。き。え。い。く
れ。れ。を。た。ま。と。け。ん。編。あ。の。の。ハ。業
の。心。か。を。う。を。の。こ。を。ほ。の。ら。ん。

第八十二

下クサもサキニノミミオモソヒシテハム。
 アシキトホクハレダラタレバマヘ。
 ダラタレバマヘ。 シラニモ。
 ソエケルモノカユキトシモハ。

第八十二 頭の雪

一 草木にのそおまひかきま秋

とく。〜〜〜れが。降てぬき。

頭あも。ふり〜のう。雪とあ。

二 石なみそ。あげて久。

〜。〜〜〜頭の雪の。

〜。〜〜〜。

サチ ケダ ハの六 ヲクサ クラサ ハハサ ヲクサ 美 美 美 美 美

サチ カミ リノタ トロキ ニハ二 サチ ケケ ハの六 ヲクサ クラサ ハハサ ヲクサ 美 美 美 美 美

な け と せ よ う ぶ ひ す な け よ せ き 乃 る は な ツ
 ぶ ヤ ケ ヨ ヒ ト ヨ ヒ ト ヒ ト ウ タ ヘ ウ タ ス カ ハ ツ

せ の せ の ほ る に な け と せ よ う ぶ ひ す な け よ
 ウ タ ラ バ ウ タ フ ヤ ケ ヨ ヒ ト ヨ ヒ ト ヒ ト ウ タ ヘ

第八十三 ちかあち

一 ちかあちあち。ちかあちのちよ。
 乃ちけたたまは。ちかあちの時よ。
 ちかあち。ちかあちのちよ。
 二 ちかあちあち。ちかあちのちよ。
 ちかあちあち。ちかあちのちよ。
 ちかあちあち。ちかあちのちよ。

三 ちかあち。ちかあちのちよ。

ちかあちあち。ちかあちのちよ。

四 ちかあちあち。ちかあちのちよ。

ちかあちあち。ちかあちのちよ。

又 ちかあちあち。ちかあちのちよ。

ちかあちあち。ちかあちのちよ。

1. タ カキ 子 フー コ エ テ とあ 八
2. ツ キ ム の ろ ギ は い 分

イ デ ニ ケ ソ フ カ ナ ち る ニ
み の ま も り む な し る ニ

ワ ガ フ タ ス ケ ン ターメー
な す な し ば し の いーヌー

ニ シ ハ イ デ ニ ケ リ
モ つ と め よ は げ め

第八十四

高嶺たかね

一
 一 ちのつねをくらそく。
 日暮いづくにあり。
 わのちあすも影を。
 たすけ舞いと然
 たり。日暮いぢふよ
 たり。

二
つた目此うげを。

こゝの身のまゝそり。
 ニむきろくかすれ。
 志ばし乃ひまを。
 泣かぬらとげ然。

ヨツノ トキナガメツツ キヌ ハルハ ハナオリ ナスニシキ

アキハ ツキマス ミノカガミ ナツゴロ モカトリモスズ シフユ

ノアサケユキモヨシヒトノヨハタノシキモノカ

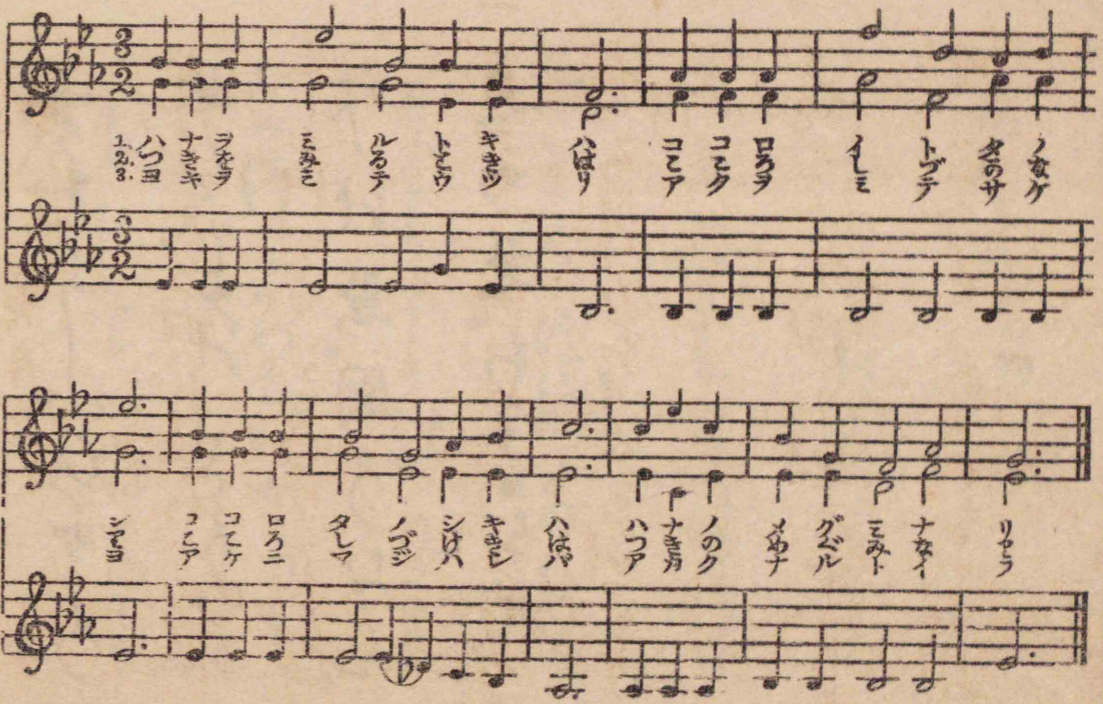
カミノオンタニノオンキミノオンワスルナーヒト

第八十五 四の時

一
 よつのかつた。たつめぞ
 はおぬ。まをけは邪。
 おりまは給。あたら
 月。まますけのふる。
 なるはごる。かやあを
 す。ま。まはあはま。

一
 世ら。おはまのう。
 みれ思。國乃おん。
 君の思。あまのふ人。

第八十六



一 心をえん時こころいたし。
 二 月をくらけハ心志づつり。
 三 とねをこそ後う。悪をみまら。

第八十六 花丸

一 心をえん時こころいたし。

二 月をくらけハ心志づつり。

三 とねをこそ後う。悪をみまら。

三 とねをこそ後う。悪をみまら。

あや 来たよ交りきた。あやくちをこころ。

第八十七

Musical score for 'Hachijūshichi' (No. 87). The score is written in three systems, each with a vocal line and a piano accompaniment line. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is 4/4. The lyrics are written in hiragana and kuzushiji below the notes.

Lyrics (top system):
 春の代に 風は 吹く 春の代に 風は 吹く
 春の代に 風は 吹く 春の代に 風は 吹く

Lyrics (middle system):
 春の代に 風は 吹く 春の代に 風は 吹く
 春の代に 風は 吹く 春の代に 風は 吹く

Lyrics (bottom system):
 春の代に 風は 吹く 春の代に 風は 吹く
 春の代に 風は 吹く 春の代に 風は 吹く

第八十七

一 春の代に 風は 吹く 春の代に 風は 吹く

春の代に 風は 吹く 春の代に 風は 吹く

春の代に 風は 吹く 春の代に 風は 吹く

二 春の代に 風は 吹く 春の代に 風は 吹く

春の代に 風は 吹く 春の代に 風は 吹く

春の代に 風は 吹く 春の代に 風は 吹く

第八十八

一イ ハ へ ワガキ云 フ メガ云ノ シキナニ ヤシマニ アフレ アヤ子キ
 二い は 陸 わがくに き みづへの おしほは のもせに みちて しろの能

ハルカセ タサキモ ナゼーカ イハへ イハへ クニノターメ ワガキ云 フ
 三ー百花 はなききーぞあーゆ いは陸 いは陸 きみのたーめ わがくに き

第八十八 後へ吾君を

一 後へ吾君を^{ウシキミ}を^{ウシキミ}の^{ウシキミ}ま^{ウシキミ}波^{ウシキミ}が^{ウシキミ}た^{ウシキミ}り

あ^{ウシキミ}ま^{ウシキミ}き^{ウシキミ}ひ^{ウシキミ}た^{ウシキミ}ま^{ウシキミ}風^{ウシキミ}そ^{ウシキミ}の^{ウシキミ}あ^{ウシキミ}ま^{ウシキミ}ひ^{ウシキミ}く

い^{ウシキミ}は^{ウシキミ}く^{ウシキミ}。國^{ウシキミ}の^{ウシキミ}方^{ウシキミ}わ^{ウシキミ}が^{ウシキミ}君^{ウシキミ}を^{ウシキミ}。

二 後へ吾國を^{ウシキミ}瑞^{ウシキミ}穂^{ウシキミ}の^{ウシキミ}ち^{ウシキミ}わ^{ウシキミ}の^{ウシキミ}せ

に^{ウシキミ}も^{ウシキミ}ち^{ウシキミ}て^{ウシキミ}志^{ウシキミ}ろ^{ウシキミ}う^{ウシキミ}ね^{ウシキミ}美^{ウシキミ}金^{ウシキミ}花^{ウシキミ}の^{ウシキミ}葉^{ウシキミ}の^{ウシキミ}。

い^{ウシキミ}ち^{ウシキミ}く^{ウシキミ}。君^{ウシキミ}の^{ウシキミ}方^{ウシキミ}わ^{ウシキミ}が^{ウシキミ}國^{ウシキミ}を^{ウシキミ}。

第八十九

花鳥

一 花鳥の音も雀はなれぬや疾く

おたいで書よあわづ子まよ吾子

あつと母いひやにハ花鳥めづら

二 書らむひやにハ花鳥めづら鳥

心吸たのこつたずあつた

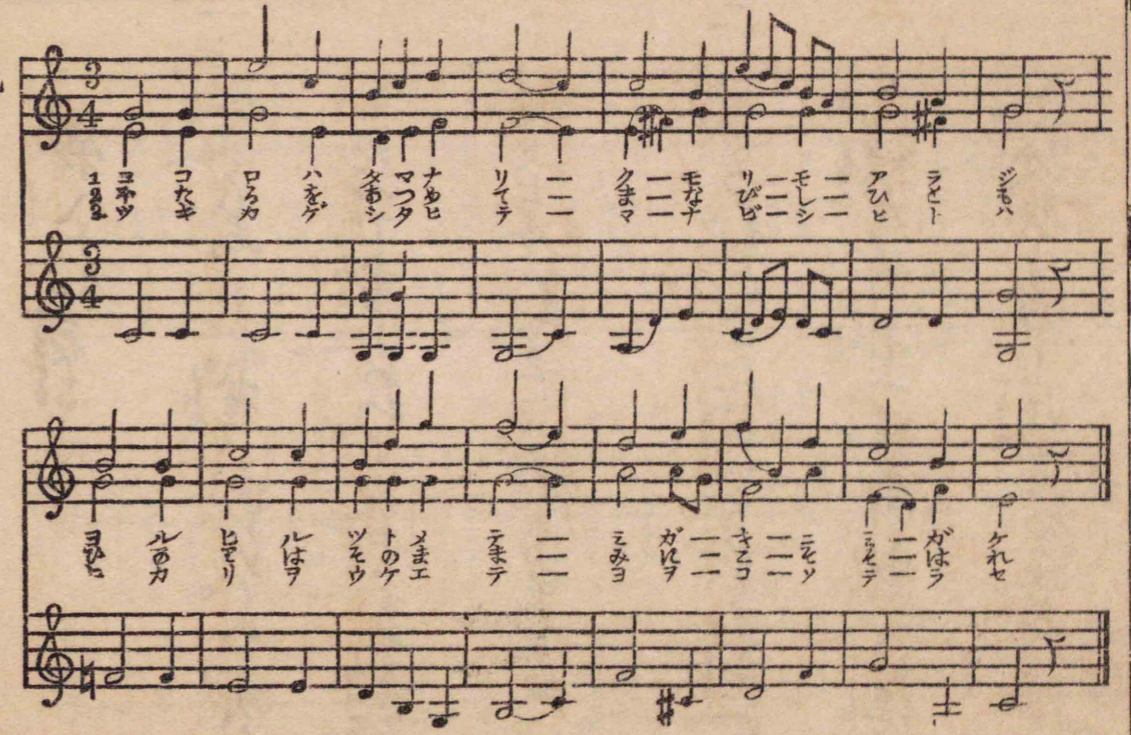
あつちひけ始をか

第八十九

ユヤマギーハ シラミテ スズメハ ナキヌ ハヤトク オキイデ フミヨメ
 ふみよーむ ひまは はなごめ めでよ とまなき はなせき たのしーみ

フガコ フミヨメ ワガコ フミヨム ヒーフニハ ハナトリ マーデヨ
 つきず たのしーみ つきず あめつち ひーけし はじめも めーんぞ

第九十



第九十

一 くららハ玉ちり。黒くもあはれ。

二 書をたがめて。みづかきよ磨り。

三 書をあはれて。まらび一人を。

ひかりハせま。身にしるを。

三 月影さして。まらび一人を。

ひろくはけ。世をこそ照して。

第九十 心ハ玉

一 くららハ玉ちり。黒くもあはれ。

二 書をたがめて。みづかきよ磨り。

三 書をあはれて。まらび一人を。

ひかりハせま。身にしるを。

三 月影さして。まらび一人を。

ひろくはけ。世をこそ照して。

第九十一

1. コニ マツ ル キミガ ミタ マ ランハクダケテカニニホヒ
 2. こゝに まつ る せん の ひ と やぶをくだもきみおため

ホ子ハクチ テ ナラズノコース ツクエ シロモノケヨキー
 らにの まも て よよのあーあーか ひあてたえせじそのひーあー

第九十一

招魂祭

一 ちのに奠る。君が靈園へかけて。

香に匂ひ骨は朽ちて。名を跡に。

机代おけけと君。

二 け所になつる。歳死の身と碑と。

君の為。國はまもて。世の程。

定うたのせしむらう。

明治十七年三月廿九日印刷發行

同 十六年五月再版

昭和九年五月十日印刷

編纂者 文 部 省

版權 所有 發行者 東京音樂學校

印刷兼 發賣者 大日本圖書株式會社

東京市京橋區銀座二丁目五番地

發 賣 元 東京市京橋區銀座二丁目五番地

大日本圖書株式會社

元

定價 初編 金拾八錢
第二編 金拾五錢
第三編 金參拾四錢

文部省著作

新訂 尋常小學唱歌

全國小學校に使用すべき教科書
文部省新唱歌教科書

本 曲

【册六全判新】

件 奏 附

【册六全判大倍六四】

◎第一學年用	定價金拾參錢 (六錢料)
◎第二學年用	定價金拾參錢 (六錢料)
◎第三學年用	定價金拾參錢 (六錢料)
◎第四學年用	定價金拾四錢 (六錢料)
◎第五學年用	定價金拾四錢 (六錢料)
◎第六學年用	定價金拾四錢 (六錢料)
◎第一學年用	定價金卅八錢 (六錢料)
◎第二學年用	定價金卅九錢 (六錢料)
◎第三學年用	定價金四拾錢 (六錢料)
◎第四學年用	定價金四拾六錢 (六錢料)
◎第五學年用	定價金四拾六錢 (六錢料)
◎第六學年用	定價金四拾六錢 (六錢料)

高等小學唱歌 全一册 定價金拾參錢

小學農業書 全二册男子用 定價卷一、二各金參拾錢

小學農業書 全二册女子用 定價卷一、二各金貳拾錢

小學英語讀本 全二册 定價卷一金拾參錢

發行所 東京市銀座二丁目 大日本圖書株式會社

